

# 廣瀬淡窓

井上敏幸 監修  
高橋昌彦 編著  
佐藤晃洋・大野雅之・佐藤香代 著

▼B6判・三三二頁／定価：本体二、五〇〇円（税別）

ISBN978-4-7842-1817-2

【二〇一五年一〇月 刊行予定】

江戸時代後期、豊後日田に生まれ活躍した儒学者・教育者・漢詩人、廣瀬淡窓（一七八二〜一八五六）の評伝。

従来の評伝が、淡窓の著作に傾注して叙述されてきたのに対して、本書では、淡窓の日記や自叙伝、著書をはじめ、書簡や漢詩、周辺史料などから淡窓の生涯を再検討し、新たな淡窓像を構築する。

とくに漢詩を多くとりあげ、その背景についても解説。著述と出版についても、最新の調査をふまえて詳細に検討する。

たかはし・まさひこ……一九六〇年山形県生。

九州大学大学院文学研究科博士後期課程中退、修士（文学）。  
日本近世文学専攻。現在、福岡大学人文学部教授。

## ●予定内容目次●

### 序章 淡窓を生んだ故郷日田

- 一 淡窓が生まれ育った地理的・文化的環境
- 二 淡窓を生んだ廣瀬家

### 第一章 教育者としての歩み

- 一 生い立ち
- 二 遊学
- 三 大病と妹秋子
- 四 教育の道を進む決意
- 五 咸宜園における教育システム
- 六 詩作を重んじた教育
- 七 廣瀬家による咸宜園支援
- 八 咸宜園の継承問題
- 九 塾外での教授活動
- 十 晩年の淡窓

### 第二章 淡窓の漢詩を読む

- 初編
- 二編

### 第三章 淡窓の著述と出版

- 一 著作について
- 二 出版までの道のり  
——『遠思樓詩鈔』初編を中心に
- 三 『詩鈔』の諸本について
- 四 校訂作業の様子
- 五 その他の出版について

### 終章 咸宜園教育の広がり

- 一 淡窓の名声の広がり
- 二 咸宜園での学びの広がり
- 三 淡窓没後の咸宜園


あとがき

廣瀬淡窓年譜

主要参考文献

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	廣瀬淡窓	本体2,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1817-2	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

## ※ 広瀬旭荘全集 [全12巻・別巻1]

中村幸彦・多治比郁夫・岡村繁  
・中野三敏・井上敏幸編

江戸末期折衷派の儒者、広瀬旭荘の幕末（天保4～文久3）31年間の日記（日間瑣事備忘）を中心に、詩文・随筆・書簡まで全て網羅した。ことに日記は幕末各分野の実態と動向を伝える生きた資料であり、各界の名家がことごとく登場し、その詳細な記録に興味はつきない。

【日記篇（日間瑣事備忘・全9巻）】  
▶B5判・平均560頁／揃本体 127,500円（税別）

【随筆篇（全1巻）】  
▶B5判・472頁／本体 14,500円（税別） ISBN4-7842-0435-0

【詩文篇（全1巻）】  
▶B5判・892頁／本体 30,000円（税別） ISBN978-4-7842-1490-7

《書簡・伝記資料篇（全1巻）と別巻（総索引）は未刊》

## 識字と学びの社会史

日本におけるリテラシーの諸相

大戸安弘・八鍬友広編

近代学校制度が導入される以前までの、日本の識字と学びの歴史的展開とその諸相を、様々な史料から多面的に掘り起こし、実証的な検討を試みる。地域性と個別性を意識した事例の検証が必ずしも十分とはいえない現状に一石を投じる、教育史研究者七名による気鋭の論文集。  
▶A5判・372頁／本体 7,000円（税別） ISBN978-4-7842-1772-4

## 近世国家の教育思想

本山幸彦著

徳川幕藩体制期の教育政策を縦覧し、政治・経済・社会の諸条件と関連させながら、政治と教育の関係を明かす。また、幕府・諸藩の教育機関設立の趣旨、幕臣や藩士に対する奨学の論旨、教育機関発達の諸条件など、体制の維持・存続・強化のための教育思想・施策の具体像を明らかにする。  
▶A5判・296頁／本体 7,000円（税別） ISBN4-7842-1069-5

## 熊沢蕃山の思想冒険

山田芳則著

近世の儒者・熊沢蕃山（1619-1691）の著作の思想構造の解明をめざし、それぞれの著作を比較することで、蕃山の思想の変化に注目し、その変化の意味を問う。また中江藤樹『翁問答』や池田光政の藩政改革をあげて、岡山藩における蕃山の政治体験の意味を解明し、それらの考察から多様な蕃山の思想を立体的に浮かび上がらせる。  
▶A5判・218頁／本体 5,000円（税別） ISBN978-4-7842-1783-0

## 松岡恕庵本草学の研究

太田由佳著

江戸前～中期に活躍し、近世日本において本草学が博物学的に発展してゆくなかでその一翼を担った人物として評価される京都の本草家松岡恕庵（1668-1746）を主題に据え、その学問の実像に迫る。松岡恕庵に関する基本的研究書。巻末に資料編として松岡恕庵著作・関連資料目録を付す。  
▶A5判・390頁／本体 7,500円（税別） ISBN978-4-7842-1617-8

## 田能村竹田基本画譜 [全2巻(図版篇・解説編)]

宗像健一編著

図版篇には厳選された140点（カラー95点・モノクロ45点）の作品を大型図版で収録。解説篇には総論と基本作品の詳細を極めた個別解説のほか、題詩・落款・印譜・年譜などを収録。美術史はもちろん、大分県・煎茶・漢詩・儒学・歴史など広範囲な研究に大いに益する、田能村竹田研究の決定版。  
▶B4判変・総398頁／本体 28,000円（税別） ISBN978-4-7842-1566-9

## 九州の蘭学 越境と交流

W.ミヒエル・鳥井裕美子・川眞人編

近世、西洋への唯一の窓口であった長崎及び九州各地で、人々が在来の学術とは異なる西洋近代科学にどう向き合い、学び取って、世のため人のために役立てたのか、あるいは来日した西洋人が、知的交流や技術移転にどれほど貢献したのかを、最新の研究成果に基づき、彼らの業績と足跡を通して明らかにする。  
▶A6判・380頁／本体 2,500円（税別） ISBN978-4-7842-1410-5

## 前野良沢 生涯一日のごとく

鳥井裕美子著

解体新書の訳者として知られる江戸時代の蘭学者・前野良沢の評伝。これまで『解体新書』刊行を中心に論じられてきた良沢の生涯を、彼の著訳書や周辺資料から再検討し、新たな良沢像を構築する。巻頭に口絵写真、巻末に前野良沢年譜・主な参考文献を付す。  
▶B6判・334頁／本体 2,500円（税別） ISBN978-4-7842-1786-1

## 近世私塾の研究

海原徹著

広瀬淡窓、本居宣長、杉田玄白、シーボルト、緒方洪庵、藤田幽谷・東湖、月性、吉田松陰など近世の代表的な私塾の動態と人的交流を多方面から総合的かつ体系的に解明・分析し、その果たした役割と意義を探り、近代への胎動を追求した初の本格的な研究書。写真・図版多数収録。  
▶A5判・650頁／本体 14,000円（税別） ISBN4-7842-0747-3

## 思想史における近世

柴田純著

個人と社会、主観と客観の相剋に挑む新鋭の問題作。  
【内容】近世思想史研究の課題と方法／近世前期における学文の歴史的位置／那波活所の思想／那波活所と徳川頼宣／徳川頼宣の藩教学思想／近世における法と理／近世初頭の社会と儒者／思想史における近世／宋明学を受容と日本型中華意識  
▶A5判・310頁／本体 5,800円（税別） ISBN4-7842-0650-7

## ※ 近世儒者の思想挑戦

本山幸彦著

江戸開府から大政奉還までの近世265年間の、成立・安定・動揺・崩壊の4期に分け、各時代の代表的儒者・思想家である林羅山・熊沢蕃山・貝原益軒・荻生徂徠・佐久間象山・横井小楠をとりあげ、彼らが直面した時代の課題にいかにか解決の道を見出そうとしたのか、その思想的な営みの足跡に迫る。  
▶A5判・314頁／本体 7,500円（税別） ISBN4-7842-1304-X

## 徂徠学の史的研究

今中寛司著

第一章においては、新史料「徂徠先生年譜細君墓表一卷」、徂徠自筆『勝寛寺縁起』により徂徠の前半生を明らかにし、第二章では徂徠学における「古文辞」の学と、それを生みだした私塾護園について論じ、第三章において徂徠の業績と評価を総合的にまとめる。  
▶A5判・424頁／本体 12,000円（税別） ISBN4-7842-0737-6

## ※ 京都町衆伊藤仁斎の思想形成

三宅正彦著

朱子学は幕藩国家の支配階級のみならず被支配階級とくに京都町衆にも浸透する。仁斎も熱烈な朱子学徒であったが、なぜ仁斎は朱子学を否定して独自の思想体系仁斎学に至ったか。その歴史的意義と思想的展開を、徹底した稿本研究を通し、京都町衆の存在形態と意識的特質の検証の中に探る。仁斎学の新たな地平をきり拓く労作。  
▶A5判・378頁／本体 5,800円（税別） ISBN4-7842-0484-9

## ※ 大分県の教育史

鹿毛基生著

大分県の特徴ある教育・文化を紹介し、寺子屋・郷学校・私塾・藩校などの教育施設のほか、広く社会・宗教・産業教育などにもふれ、古代から明治前期までを扱う。また、教育・文化に貢献した人物をとりあげ、教育的事跡を紹介。付録として教育史年表・参考文献・地図などを収録。  
▶A6判・309頁／本体 1,800円（税別） ISBN4-7842-0376-1

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。